

先駆けを！

夢の実現に向けて！

学校報 望洋

東海大学付属望洋高等学校

発行：メディアセンター

2009年11月19日 第24号

★建学記念式典

11月2日（月）、本校松前記念講堂で、建学記念式典を挙行了しました。阪本尚志校長は、式辞で「本学園の創設者、松前重義博士の歩まれた勝利の人生の一端を紹介し、今日の東海大学の礎を築かれたことを生徒諸君に認識してもらうこと。そしてこれからの自分の



人生をどのように生きていくべきかを考えてもらいたい。」と述べられました。つづいて30年永年勤続者表彰が行われ、井出治男教頭補佐は「30年を振り返ると、望洋高校草創期の生徒たちは、新しい伝統を築き上げようとする活気に溢れていました。こうした先輩たちのよき伝



統を受け継いで、来年度から新しく始まる学校改革のなかで、各自が自覚を持って、さらに前進させてもらいたい」と謝意を述べられました。

★文化講演会

11月2日（月）、松前記念講堂で、生徒会主催の文化講演会が行われました。

講演者は、矢野宏光教授（聖カタリナ大学人間健康福祉学部）で、テーマは「セルフイメージが生活と行動を変える～未来に向けた新しい心と身体づくり方～」。スポーツ心理学のスペシャリストである同教授は、「セルフイメージとは自分で作りあげた自分のイメージのことである。人はセルフイメージ以上にはなれないと言われている。それゆえに若いうちに自分のイメージをつくり、自分を制限する必要はない。自分で自分を信じ、開発する努力をすることである。努力すればセルフイメージを広げることができる」と語られました。スポーツ選手はむろん、それ以外の生徒にも、人生を生きるうえで非常に有意義で貴重な講演でした。



★講演の中で話された「自己効力感と自尊感情」は、自分たちが前進するためには、絶対に忘れてはいけない考え方だと思いました。これからは日常生活のなかで常に「出来たこと」に目を向ける習慣を身に付けたいです。（3年5組 御園拓也）

★スポーツ選手が競技に臨む時の「脳のコントロール方法」を教えていただきました。自分自身を飛躍させるためには、脳に今までの自分とは異なったイメージを覚えこませる練習をすることだと思いました。（2年2組 山田師央）

★東海大学付属推薦合格発表

11月4日(水)、本校で付属推薦希望者の合格発表が行われました。今年度は、195名の3年生が、付属推薦で東海大学(ハワイ東海インターナショナルカレッジを含む)へ進学する予定です。
☆各学部の合格者数は右の通りです。

学 部	合格者数	学 部	合格者数	学 部	合格者数
国際文化学部	2	医学部	0	観光学部	4
生物理工学部	0	理学部	8	産業工学部	0
芸術工学部	2	情報理工学部	8	農学部	3
情報通信学部	17	工学部	31	短期大学部	2
文学部	30	体育学部	12	医療短期大学	0
政治経済学部	18	健康科学部	5	福岡短期大学	0
法学部	23	海洋学部	6	ハワイ島インターナショナルカレッジ	2
教養学部	22				

★SPP 第8回講座(材料)

11月9日(月)、本校化学実験室で、SPP講座第8回(材料)が行われました。今回のテーマは「身のまわりの材料に着目した科学技術～ものづくり加工技術の一端にふれよう～」のなかの「科学コミュニケーション実習Ⅲ(グループ実験を通じて得られた結果をまとめ発表する科学コミュニケーション技術を習得する)」で、担当は日本科学未来館コミュニケーション推進室 谷村優太氏と同推進室科学コミュニケーター 吉田健二氏および田中透 同館長期



研修生(埼玉県立浦和高等学校教諭)でした。当日は30名の生徒が参加して、前半は「液体窒素を用いて、グループごとに超伝導実験を行い、マイスナー効果を理解して、生活の中でどのように利用されているのか。」を紹介。後半は「前半に得られた実験データをもとに、グループディスカッションを行い、最後にプレゼンテーション実習」を行いました。

★豆電球の光が、温度差によって明るさが変わった時は、科学の偉大さを感じました。超伝導が将来パソコンに実用化されることを想像すると、さらに情報関係に興味が増しました。

(2年5組 勝勇樹)

★超伝導の実用性について、皆でディスカッションしていると、夢が広がって、さらに超伝導を追求したくなりました。まだはっきりは分かりませんが、自分たちの生活に役立つ何かを考え出したいです。

(1年3組 笠井 凌)



★第62回秋季関東地区高等学校野球大会でベスト4進出

10月31日(土)から11月5日(木)の間、千葉県(開催県; 県野球場および市原臨海球場)で行われた「第62回秋季関東地区高等学校野球大会」において、本校野球部は、各県代表のチーム

と対戦し、ベスト4という栄誉に輝きました。試合結果並びに出場選手は以下の通りです。

○試合結果：1回戦5対1 富士学苑（山梨県1位） 2回戦4対1 桐蔭学園（神奈川県2位）
準決勝1対4 花咲徳栄（埼玉県2位）

○出場登録監督・コーチ・選手名：

監督：相川敦志 部長 濱崎雄作 コーチ：和田健次郎 主将：坂本拓弥(2年) M：平山翔子(2年)
選手：長友昭憲(2年) 尾澤賢人(2年) 天川大勢(2年) 那須雄樹(2年) 鈴木凌太(2年)
太田 樹(2年) 加藤大地(2年) 石橋一真(2年) 川島祐樹(2年) 小坂伊織(2年)
桜井健人(2年) 松戸真人(2年) 常泉直樹(2年) 菱浦哲也(2年) 大木稜真(2年)
地下嘉人(1年) 岩堀智紀(1年)



★平成21年度関東高等学校選抜新人陸上競技大会結果

10月31日(土)から11月1日(日)の間、千葉県(開催県；県総合スポーツセンター陸上競技場)で行われました「平成21年度関東高等学校選抜新人陸上競技大会」において、本校陸上競技部 中村みづきさん(2年)が、



女子800mで5位(2分17秒12)に入賞しました。また伊藤康仁君(1年)が、男子走り高跳びに出場しました。



★第2回学校説明会

11月7日(土)、松前記念講堂(校内見学は全館)で、第2回の学校説明会が行われ、235名の方が参加しました。当日は、吹奏楽部による歓迎演奏とビデオ上映に始まり、校長の挨拶、教頭より「本校の教育方針・教育内容・入学試験概況」の説明が行われ、そのなかで、本校3年生の佐藤愛子さんと戸井田菜摘さんが、在校生の視点から英語教育や進路志望等高校生活について話をしました。また校内施設・設備の見学が行われ、個別進学相談コーナーでは、保護者や受験生の相談にあたりました。第3回は、12月6日(日)に開催いたします。

★バスが無料になるので、望洋高校が近く感じられます。また自分と年齢の離れていない高校生が、オーラル(英語)の授業や進路(HTIC志望)について、分かりやすく説明していたことが印象的でした。校舎内もきれいで、落ち着いた雰囲気を感じました。

(市原市立湿津中学校3年生)



★今月の主な取り組み

★生徒会役員選挙公示

11月4日(水)、「生徒会会則第3章」および「選挙及び生徒会役員ならびに選挙管理委員会に関する細則」に基づき、生徒会役員選挙に関する公示がなされ、立候補者の募集が開始されました。

★献血の実施

11月13日(金)、日本赤十字社主催の「献血事業」に協力しました。当日は、事前に申し込みをした48名の生徒教職員が献血を行いました。今年はインフルエンザの影響があり、例年に比べ献血者の減少がみられました。



★部活動報告・各賞受賞

○日本赤十字社主催の献血推進啓発作品受賞者

千葉県健康福祉部長賞 齋藤莉央(1年)

千葉県赤十字血液センター所長賞 北島利恵(3年)

○ソフトボール部

平成21年度千葉県高等学校新人ソフトボール大会結果

女子 1回戦敗退

○茶道部

千葉県高等学校文化連盟茶道専門部主催「第19回総合交流茶会」に参加

○吹奏楽部

第35回千葉県アンサンブルコンテスト安房・上総地区予選結果
木管八重奏(金賞 地区代表)

中村のぞみ(2年) 片岡 楓(2年)

小倉成美(2年) 飯田洋子(2年)

大田直樹(1年) 門田雅未(1年)

田中久志(1年) 田中真理(1年)

打楽器三重奏(金賞 地区代表)

荒井祐人(2年) 内田 歩(1年) 吉野 楓(1年)

金管八重奏(金賞)

松村佐織(3年) 山田葉留香(2年)

秦野紗季(2年) 福井美花子(2年)

福永 栞(2年) 比佐美織莉(1年)

篠原尚宏(1年) 實川春菜(1年)



○所在地：290-0011 千葉県市原市能満1531 0436-74-4721 URL：<http://www.boyo.tokai.ed.jp/>

◎第2回公開授業のご案内

11月24日(火)～27日(金)、1限～4限の授業を公開いたします。詳細につきましては保護者宛文書でご案内いたします。お忙しいなかですが、保護者の皆様のご参加をお待ちしております。